神童ばかりの
クリエイティブの世界で、
私が考えたこと

コピーライター
クリエイティブディレクター
三井明子

CROSSMEDIA PUBLISHING

はじめに

数あるなかから、この本をお手にとっていただき、ありがとうございます！

はじめに、みなさんにお伝えしておかなくてはならないことがあります。この本には、あざやかなサクセスストーリーや、あざやかな方法論は載っていないということです。

企画関係やビジネス関連の書籍に目をむけると、「課題解決をあざやかに成し遂げた話」や「考え方を変えてあざやかに成功した話」、さらには「未来を見据えてあざやかにチャンスをつかんだ話」などなど、びっくりするくらいあざやかなストーリーであふれています。

お話があざやかすぎて、すてきすぎて、読んだだけでなんだか自分までうまくいきそうな気がしてしまったり、まるで自分がスキルアップしたようなカンちがいをしてしまうことがありますよね（ありませんか……？）。

そこで、この本のことも（すでにタイトルの様子がちがうので大丈夫かもしれませんが……）、あざやかななにかを期待して読み進めていただくと、がっかりさせてしまうことになりそうです。

いえ、なりそうです、ではなく、確実にがっかりさせてしまうにちがいありません。私自身があざやかな人生を歩んできていないので、そうはできないのです。

でも、あざやかではなくても、じわじわと効いてくる。そんな本にはできるかもしれないと思っています。

たとえば、優秀な人たちに囲まれて、自分の才能や能力に自信をなくしているかた。一生懸命考えても、コピーがうまく書けない。企画が通らない。まわりの人は次々と結果をだしているのに、自分だけが取り残されているような気がする。自分には才能がないのではないか。この仕事に向いていないのではないか。そんなふうに感じたことのあるかたに、私の経験が、なにかのお役に立てるかもしれません。

私自身、ずいぶん長いあいだ、そう思ってきたからです。

私は、美術系の短期大学を卒業し、中学校の美術の先生になり、その後、溶接の資格をとったり。いろいろあって化粧品メーカーの宣伝部や広告会社のコピーライターに。2年前に独立してフリーランスになりました。20年以上やってきたなかで、たくさんのクライアントの広告制作を担当させていただき、それなりに広告賞などをいただいたりもしました。ひとことで言うと計画性なく、あざやかさもなく今までやってきました。

広告クリエイティブの仕事では、本当に超優秀なかたばかりに出会います。そう、みなさん決まって「もと神童」。スマートに着実に課題をクリアする、絵に描いたようなエリートです。一方、私はといえば、神童であるはずもなく、ことごとくスマートに進むことができませんでした。自信がない。まわりからも評価されない。転職を7回くりかえし、言い訳しながら、寄り道しながら、ただやみくもにコピーの仕事を続けてきました。

でも、そんな非効率な道のりにも、ムダがあったからこそ見えたことがありました。優秀な人とおなじようにできなくても、自分なりの方法を見つけることができた。

しかもそれは、歯を食いしばって努力を重ねるような方法ではありません。どちらかといえば、ちょっとズルしながら、見つけてきた方法論です。

じつは、ちょっとズルするのって大切だと思うんです。ちょっとズルしたから続けられた。ちょっとズルしたからたのしんでこれた。そんな話です。

この本では、私が実際に手がけた広告やコピーを例に、どこから発想の糸口を見つけたのか、どうやってアイデアをひろげ、ことばにしていったのか。試行錯誤のなかで見つけた考えかたや具体的な方法をご紹介します。

私自身の時間は巻き戻せませんが、これからのみなさんはまだ間に合います。私が遠回りして見つけたことが、みなさんの〝ぬけ道〟になれたらと考えています（近道ではなく〝ぬけ道〟。もしくは〝ウラ道〟です。表通りの王道感はないかもしれません。でも知っておいてソンはないはずです）。

コピーや企画を考えるときや、行きづまったときにためしてみたくなるヒントを、ひとつでも持ち帰っていただけたら。そして、今までよりすこし軽やかな気持ちで、また考えはじめていただけたら、とてもうれしいです。

それでは、前置きでお話ししすぎると本文がどんどん薄くなってしまいそうですので。神童ばかりの広告クリエイティブの世界で、神童ではなかった私がどうやってきたか。私の実体験にそって、ご紹介していきたいと思います。

この本における〝神童〟とは、生まれながらにして超優秀で、突出した頭脳や才能、実行力を持った人を指す広義の概念です（以後、もと神童は、神童と表記します）。

目次

はじめに……3

第1章 神童じゃないからできることがある

広告クリエイティブは、神童ばかりだった……14
ふつうの人は、できることをやればいい……19
神童は少数派、ふつうの人は多数派……26
苦手なことから逃げてもいい……29
ふつうは強みになる？……36
やっと見つけた突破口……41

コラム 私が出会った神童たち
澤本嘉光さん／谷山雅計さん……52

第2章

ふつうの人の本音を言語化する

ふつうの人の本音は、社会にも広告にも必要だ……58
本音がコピーになる？……61
個人的なことばほど、とどく……67
本音は、調査ではわからない……73
まずは、自分が「本当は」どう思うか……77
匿名サイトで答え合わせをする……81
本当の本音を知るコンテンツ……84
インサイトより、本音……88
本当の本音を時々たしかめる……91
非神童はどうやって言語化するか……94
市民代表じゃないけれど……101
本当の本音を見分けよう……108
脳みそにさざ波を立てるインプット……115

コラム　私が出会った神童たち
三島邦彦さん／佐々木宏さん……120

第3章　自分のできる方法で書けばいい

そのコピー修行、意味ありますか？……126
直感を信じる……129
まずは、やみくもに考える……136
アイデアの「もと」は逃さない……144
1行のキャッチコピーをあきらめる……149
集めるだけでいい……151
集めるだけでいい、のおまけ……158
置き換えてみればいい……161
コピーのかたちにとらわれなくていい……171
制約があるからひろがる……177
伝えたいことを〝そのまま〟コピーにすればいい……186

小学生の神童になって考える……195
ことばで世の中の空気を変えられたら……200
しゃべり言葉で自由になる……207
ラジオCMは、非神童を拒まない……215
とはいえ、他人の意見はどうでもいい……224
違和感を見過ごさない……231
静かな場所で、ひとりで書く……236
結論！〝やみくも〟コピー思考方法……240

コラム　私が出会った神童たち

井村光明さん／前田康二さん／本間絹子さん……246

第4章　続けるだけでいい

「非神童」を続けてきた……254
どんな巨匠も続けたからこそ……260

あきらめるから続けられる……264
「じゃなかった」経験が、強みになる……271
自覚×野心で神童に挑む……276
いいねと言ってくれる人をみつける……282
3つのNoを忘れない……287
今日からはじめて、続ければいい……291
コラム　私が出会った神童たち
磯島拓矢さん／大宮エリーさん……296
おわりに……300

カバーデザイン　秋山具義＋山口百合香（デイリーフレッシュ）
本文デザイン・図版・DTP　石澤義裕